

味

風土の味わい

清冽な水、清らかな空気…
豊かな自然環境に育まれた
心温まる郷土の自慢の味

佐久の地酒

ハヶ岳、浅間山からの伏流水と、おいしい米で作られた地酒。佐久には13蔵の酒蔵があります。

安養寺ら〜めん

信州みそ発祥地といわれる「安養寺」にちなんだみそを使ったラーメン。全国から多くのラーメンファンが訪れています。

信州そば

冷涼な気候の佐久地方は、信州そばの産地。香り高い蕎麦が味わえるお店も市内にはたくさん。

佐久鯉料理

発祥から230余年の歴史を誇る佐久鯉。千曲川の清冽な水が育て上げる鯉の身は、臭みが無く、締まっているのが特徴。

プルーン

佐久市発祥のサンプルーンをはじめ種類豊富なプルーンは生食がおすすめ。
【7月下旬～9月下旬】



桃

昼夜の寒暖差によって糖度が高く色艶が良い。平根地区は桃源郷とも呼ばれている。
【7月下旬～8月下旬】



信州りんご

秋映・シナノスイート・シナノゴールド、ふじなど自慢の品種がいっぱい。
【9月中旬～11月下旬】



佐久の街づくりをお手伝い

豊かな自然と歴史が息づく志賀の里。その由緒ある里から産出される自然石「志賀石」。

信頼と実績の67年。生活基盤整備に貢献し、

次世代に受け継がれる持続可能な国産天然素材をご提案いたします。



志賀石

日本の銘石

しが い し

軽井沢星野リゾート「石の教会・内村鑑三記念堂」をはじめ、別荘建築の石壁・石積・石畳・造園などにも幅広く採用され、「軽井沢レイクガーデン」には数千本のバラと共に志賀石が活かされています。



みなさまの生活を支える建設土木工事



道路改良工事

佐久市内の様々な箇所の工事を請け負っています。



災害復旧工事

令和元年の台風災害では志賀地区の復旧工事をいたしました。



高枝伐採工事

作業には危険が伴う上、重機などが必要となります。お気軽にご相談ください。



舗装工事

道路などの広範囲の工事から、駐車場までお任せください。



除雪作業

公道や高速道路から店舗駐車場や私道まで、危険を伴う作業ですが安全第一を合い言葉に。



株式会社井出工業

〒385-0006 長野県佐久市志賀3704

TEL.0267-67-2348 FAX.0267-68-0123



志賀の里

それ東信の北佐久にその名も知るき志賀里
名勝古跡の数々をいでや尋ねんもろともに



株式会社井出工業

槌ヶ崎公園

築紫の耶馬に勝るともおとらぬ



槌ヶ崎公園内に建立された「志賀の里」の石碑。作者の柿崎誠さんの経歴などは不明だが、志賀の名所や成り立ちなどが刻まれている。



当主が還暦を記念に植えた桜の木400本が20数年を経て、今満開に咲き誇っている。



アルプスの山々

桜の新名所 槌ヶ崎公園

当主が還暦を記念に植えた桜の木400本。志賀川に沿った桜並木は少し遅めの桜が楽しめる。ライトアップでは、幻想的な奇岩と夜桜が絶景。

岩山の頂上にある「金壺岩」

- 一、それ東信の北佐久にその名も知るき志賀里名勝古跡の数々をいでや尋ねんもろともに
- 二、弘法大師腰掛岩 岩より投げし筆の駒つなぎ止めたる柵の内駒込とこそ申すなれ
- 三、化石貝ある八重久保を尋ねんもまた道のため築紫の耶馬に勝るともおとらぬ景が槌ヶ崎
- 四、天狗が山の光苔 村の峯のひとつなりこの植物の保護の為我等は力を尽すなり
- 五、小倉の久保に大關伽流 奇岩にその名は知られたり九十九折りなる道来れば 池に氷室の夏涼し
- 六、舟付岩の離山 昔湖水のはなれ島五十貫より切開き 今は稲田の肥沃の地
- 七、安坂登れば南佐久平野は広く連りて金刀比羅山の続きより 五本松山登り見ん
- 八、天文年間武田氏の狼煙上げたと伝へたる山の尾上の五本松 亭々として聳え立つ
- 九、東に荒船ほど近く 神津の牧場その影ぞ笠原城跡目の前に 昔を語る如くなり
- 十、西アルプスの雪の山 北に浅間の連山は一望にあり西南に 立科山やハッ岳
- 十一、古きを探ねん新しき 学の道や怠らず一等国の民として 世に立つ我等はげむらん

志賀の里

柿崎 誠 作詞

佐久の東、志賀村はかつて上州と信州を結ぶ峠道、「米の道」とも呼ばれた。志賀越えが通り、賑わいを見せていた。志賀の里にひっそりと佇む名勝地、知る人ぞ知る古跡を訪ねてみませんか。



小倉沢の未開の岩場

ロッククライミングの好適場

豊かな自然と歴史が息づく志賀の里。なかでも小倉沢にあるクライミングの好適場。人知れず未開の秘境の岩場。大關伽流山大倉観音堂から東に岩場群が連なる。



神津包重翁碑

志賀小学校跡



学校の始まりは明治6年(1873年)に法禅寺の境内に建てられた志仁学校が始まり。現校舍南棟は明治34年(1901年)に建てられた。



舟付岩

んでいる。舟付岩は昔、五十貫という地域一帯が志賀湖であったが、干拓が進み舟付岩が残ったと言われている。



離山

舟付岩の離山 志賀の西の入口、東会館の先に大きな岩山(離山)がある。ここには箱崎諏訪神社、神津藤平翁像、その脇に舟付岩が並



大關伽流山石仏

小倉久保の大關伽流山 小倉観音堂は地元では「小倉の観音様」と親しまれ、本尊は馬頭観世音が祀られている。等身大のものから、大小様々な石仏群がいたるところに安置されている。

氷室とつづいの池



小倉観音堂に向かう右側の池。池の南側に氷室があった。冬場にこの池の氷を切り出し、氷を貯蔵していた。

作詞に込められた名所



戦国時代を偲ぶ古城跡



志賀城跡 佐久地方では、武田信玄に最後まで抵抗した志賀城。武田軍が小田井原合戦で討ち取った首を城下にさらし、その光景を見た城主笠原清繁らの籠城兵は憤激し玉砕して落城した。



五本松城跡 五本松城は志賀と内山との間に聳える標高925mの山に築かれている。南に内山城、北に志賀城、尾根伝いの南東に内山古城と繋がっている。烽火台との伝承も伝えられている。



笠原城跡 標高1047mの山城で、志賀城の東側2kmほどの笠原山の山頂にある。天文16年(1547年)閏7月に武田晴信に攻め落とされたのは、この城という説がある。



高棚城跡 高棚城は志賀氏の居城とされる志賀城からさらに奥へ入った標高1015.8mの高棚山(天狗岩)に築かれている。山頂近くにある高棚山大天社があり、周囲は切り立った崖で天然の要害。



化石貝のある八重久保



弘法大師腰掛岩



弘法大師腰掛岩 駒込の東方、スエトシ牧場の東北隣りの高所に弘法大師の腰掛岩がある。大師が休息した岩だと言われる。持っていた杖で土を突くと、水が噴き出したと伝えられる。



駒つなぎ止めたる柵の内「駒込」 弘法大師が駒込の高地から投げた筆が、巨大な岩にあたって馬の形に現れた。その馬が飛び出し田畑を荒らしたので、大勢で取りしめ「くねの内」におさめた。この駒の由来から駒込と名付けられたと伝えられている。



槌ヶ崎公園



安坂峠からの南佐久の眺望



志賀の里一望



内山城跡

安坂峠

至内山

向井橋

黒壁の家

志賀局

下宿

中宿

上宿

井出工業

岩場群

志賀城跡

雲興寺

天狗が山

高棚城跡

高棚山大天社